



自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

3/4 (火)

テーマ：『四人の丸山先生』

出席 19社20名
(美浜17、他会2、非会員1)

講師：勝浦市準倫理法人会 相談役 江澤 廣 氏



Hiroshi Ezawa

江澤氏の「前向きな生命力」は、とても明るくて、優しく、力強く感じられた。

四人の丸山先生 倫理と氣の出会い

せっかく倫理の山に入っても、絶景を見ずに山を下りてしまう人がある。それを知らずに、あるいは諦めて、退会してしまったらもったいない。江澤氏は倫理入会3度目、今その絶景を見る。

3度目の入会は平成16年9月のことだった。きっかけは、ある朝、たまたま倫理を思い出し、MSに行ってみたこと。入会する気は全くなかった。

だが、わずか12日間の間に信じられないような偶然が起きた。四人の丸山先生との出会いだ。当時氣の勉強をしていた江澤氏は、「倫理と氣は似ている」と思った。さらに、丸山敏秋理事長の講演「隗(かい)より始めよ」に感動し、入会を決心。「無理せず小さなことから始めよ」の意だ。

丸山敏雄(創始者)

万人幸福の彗

7/23 丸山維敏(合氣道の先生)

「氣 心が体を動かす」

7/24 丸山敏秋(卒論で氣を書いた)

「氣 心が優先」

8/ 6 丸山俊男(氣を大切にした)

「氣 言葉の前に心あり」



だが、勝浦市準倫理法人会は、MS参加者が少なく皆もう辞めたくて解散話が出た。最後のMSを開くと、最後だからと皆が出席した。戸田幹事長は、「倫理はどうだ？」と皆に尋ねた。皆、「うん。倫理はいい」と頷く。江澤氏も、「倫理がいいなら会長やりなさい」と言われたが、もう解散は決定だからと思い、生返事した。

すると不思議なことが起こった。横では「喜んで！」と最敬礼で専任幹事を引き受けている。今度は事務長も「はい！わかりました」と受け、ニコニコして一言「江澤さん、やるっきゃないね？」「60歳になるまでに、もう一度エネルギーを燃やそう」と決心した。「隗より始めよ！」を掲げ、花一輪運動を始めた。

「隗より始めよ！」花一輪運動、高齢者施設等慰問

まず駅に花をと思ったが、断られる。そこで、費用を皆で分担して、まず街中10箇所にプランターを置いた。街の人の関心度が高く、90鉢を置いた頃には、新聞でも取り上げられ、「自然に街からゴミが消えた」と市長から感謝状も頂いた。すると以前断られた駅長から電話があり、「駅に花を置いていい。申請も許可もいらぬ」という。今ではプラットフォームに花壇を作らせてもらえるまでになった。

また高齢者施設等への慰問では、「まず寝たきりの人から励ましたい」と、獅子舞やひょっと踊りなどのイベントを出前している。太鼓と鐘が、人間の奥深くに眠っていた何かを蘇らせるのか、「施設に来てから一度も笑ったことがない」という人が笑ってくれたり、手の不自由な人の手が動いたり、喜んでもらえて本当に嬉しい。

そして、山の中にある知的障害者施設でも、嬉しいことが起こった。花一輪運動と一緒にやることで、街にも出てこられるようになり、だんだん表情が明るくなってきた。施設の職員も、家族も、皆が喜んでくれているという。さらに、「変わり者の団体」と思われていた倫理も、今では立派な社会教育団体として認知されてきた。

丸山敏秋理事長は、「0(ゼロ)の誕生」といい、0が基点と述べた。今、千葉県倫理法人会のスローガンも「原点回帰」だ。その0から始める原動力が、江澤氏にはある。それは、ある女性弁護士の著書に出てくる、江澤氏の大好きな言葉。

「どんな不幸も失敗も不運もプラスにして飛躍する前向きな生命力」

次回 第868回MS！ 3/11 (火) 6時～7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-7777)

テーマ：『倫理(ミチ)』

講師：館山市倫理法人会 会長 原口 幸春 氏

できるできるやればできる！
明るく楽しくなければ倫理じゃない！
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく